

平成 29 年 12 月 貫井図書館指定管理者連絡調整会議 議事要録

日時	平成 29 年 12 月 21 日 (木) 14 時 00 分から 14 時 40 分まで
場所	光が丘図書館 第一会議室
出席者	<p>(1) 光が丘図書館 (以下「光」)</p> <p>光が丘図書館長、管理係長、運営調整係長・係員 (2)、事業統括係長、子供事業統括係長</p> <p>(2) 貫井図書館指定管理者 (株式会社図書館流通センター) (以下「貫」)</p> <p>貫井図書館長、同館業務従事者 (2)、本社スタッフ (1)</p>
内容	<p>① 一般事業について</p> <p>(光) 視聴覚室準備室を活用して新たな対面朗読室を用意したが、使った様子は → (貫) 利用者を案内する動線については問題ないが、近くにトイレがあるため水が流れる音は気になる。</p> <p>(光) 予約した覚えのないものが予約されているとの苦情について → (貫) 予約入力経過が不明で原因が判明できなかった。予約画面が開いた状態で何か別の操作をしたことも考えられるため、操作が終わったら画面を消すなど、基本的なシステム操作について改めて徹底する。</p> <p>(光) 10 月に開催した、美術館と協働のワークショップについて → (貫) 美術館で開催中の「没後 20 年麻田浩展」に関連して開催した事業。展覧会を観覧し、美術館学芸員から解説を受けたのち、麻田浩の絵の技法を使った作品作りを行った。作品作りはコラージュの制作で、その材料として除籍した雑誌も提供し、ユニークな作品に仕上がっていた。コラージュの体験をすることで作家や作品への理解も深まったのではと思う。図書館では、技法など関連資料についても会場に展示した。</p> <p>(光) 10 月開催の「乳がんのお話」では、隣接するサンライフ練馬で託児も行った。ほかの一般事業でも託児の要望はあるか。 → (貫) 需要はあると思う。しかし、今回の託児は共催した貫井子ども家庭支援センター側が対応した。図書館で行う場合、事業で視聴覚室を使用していると託児の場所がない。サンライフ練馬の場所を借りて行うことは、スタッフを両方に配置しなければならず難しい。</p> <p>(光) 11 月に開催した、「無声映画を楽しむ」について → (貫) 活動弁士を招き、無声映画の「オペラ座の怪人」を上映した。普段触れることのない無声映画を鑑賞する機会を提供しようと実施した。無声映画の性質上、高齢者の参加が多いと予想していたが、10 代から 50 代の若年層・中年層も多く、幅広い年代の方に鑑賞していただいた。弁士の声や演技力に簡単すぎる感想も多かった。貫井図書館では映画に関する資料も豊富で、会場に関連資料も展示した。</p> <p>(光) 11 月に開催した、聴覚障害のある方を対象にした図書館見学ツアーについて → (貫) 聴覚障害のある方に、図書館を知っていただき、もっと利用してもらいたいと思い開催しているもの。今年で 4 回目の実施となる。今回は、手話を習っている健聴者の参加もあった。参加した障害のある方二人につき一人の割合で手話通訳者や要約筆記者に館</p>

内の案内、図書館の説明に付き添ってもらい、参加者からの質問に手話やメモ書きの形で回答した。聴覚障害のある方が利用していてもカウンターでは気付くことができず、こちらも障害への理解を深めるよい機会となる。聴覚障害のある方は本をそのまま読むことができるので、今後も図書館の利用を勧めていきたい。

## ② 児童サービス事業について

(光) 11月開催のリサイクル市について

→ (貫) 一般向けではなく、近隣の児童関連施設や団体に除籍資料を提供するもの。人気があり、毎年、保育園や学童施設が来館する。こうした施設には団体貸出という手もあるが、施設側では汚したり壊したりしても問題ないといった面でリサイクル資料に一定の需要がある。

(光) 支援校である中学校の学校図書館利用について

→ (貫) 図書館利用の案内をしたりパスファインダーを作ったりと来館に向けた様々なきっかけ作りを行っているが、なかなか生徒にヒットしない。練馬中ではクラス対抗の読書大会を行っているが、図書館担当の先生と連携し、何か目新しい企画を実施していくことが必要と感じている。

## ③ その他

(光) 利用者アンケートについて

→ (貫) 今年度は自由意見の中に、イベント・展示など事業についてのご意見がとて多かった。それだけ図書館で行う事業が利用者に周知されてきた証とも言えると思う。

それとは別にスタッフの接遇やレファレンススキルについてもご意見をいただいている。レファレンスについては、本格的なレファレンスまで行きつかない入口のところで満足されないと、難しい内容のものを依頼しようとは思わない。そこで、まずは入口部分である検索のスキルをしっかりと身に着けるようにしたい。全体への研修や個人への指導といった形で能力向上を図っていきたいが、個人で持っているノウハウを共有することも必要だ。また難しい案件については職員で協力して対応していきたい。

(光) 飲食が可能な休憩コーナーについての意見は

→ (貫) 不要という意見もあったが、子供と食べるときに利用しているという方もおり、概ね好意的な反応だ。

(光) 利用マナーについての意見は

→ (貫) 子供連れや子供に対して、「うるさい」、「注意して欲しい」という意見が多い。一方で高齢利用者のマナーに対する批判もある。